平成 26 年度 主要事業の取り組み成果と課題

はじめに

急速な少子高齢化の進展や単身世帯の増加、核家族化などにより、家族や地域の支え合いの機能が低下しているなか、高齢者・障がい者をはじめ全ての住民が地域で安心して暮らせるまちを実現するためには、住民が協力し合い、地域全体で支え合う社会の構築が望まれている。

本会では、高齢者等の見守り活動、自治会型デイホーム事業、ひとり暮らし高齢者の食事サービス事業、ボランティア活動の推進、障害者の相談支援、児童の健全育成、失業者・低所得世帯への資金貸付など多岐にわたる事業を展開した。

特に、地区社会福祉協議会を中心に、関係機関と連携を取りながら連携による見守り支援活動などの地域福祉活動を支援した。

平成26年度は以下の重点目標を掲げ事業の推進を行った。

（１）第２次地域福祉活動計画の着実な推進（４年目）

平成 23 年度に策定した「第２次地域福祉活動計画」に基づいて、年次計画の着実な推進を図った。地域福祉活動推進会議を２回開催し、年次計画の進捗状況等について意見交換や評価をしながら、「第２次福井市地域福祉計画」との連携を図った。また、「第３次福井市地域福祉計画」の策定に向け職員のワークショップを行った。

（２）経営改善に向けた取り組みと法人組織運営体制の強化

美山・越廼支所の正規職員を本所に異動し、社会福祉法人新会計基準の導入や新たな事業の委託などで、業務過多となっていた本所の職員体制を強化した。自主財源確保を図るため、自販機の設置を行った。またファンドレイジング（財源確保）、資金集めの先駆的な取り組みを学ぶ研修会を開催し、役職員の意識を高めた。

（３）民生児童委員、福祉委員等による見守り支援活動の強化

民生児童委員と福祉委員の改選が行われたため、全地区で民生児童委員、福祉委員の情報交換や研修会の開催を全地区に促した。また、見守り支援のための媒体として、支え合いマップを提供し、30 地区で支え合いマップを活用するようになった。また、初めて福祉委員の実態調査を行うことにより、福祉委員の活動内容などをデータ化し、今後の福祉委員育成に活用していく。

（４）障害者相談支援体制の強化

障害者に対する相談支援の中核的な役割を果たす基幹相談支援センターを開設して、相談支援専門員の資質向上のための研修や困難事例への対応などを行った。

また、相談支援専門員の配置を増やして相談支援体制の強化を行ったが、次年度に向け更なる人員配置が課題となった。

平成 26 年度　事　業　報　告

1 法人運営事業　　＜経理区分１＞

（１）　会務の運営

地域福祉の推進を目的とした公共性の高い団体として、経営及び運営基盤の強化を図るとともに、事業やサービスの質の向上を図り、住民に信頼される組織運営を行うため、三役会、理事会、評議員会を行った。

① 三役会の開催（5 回）

○ 5 月 19 日（月）　福井市社協小会議室
○ 8 月 26 日（火）　　〃
○10 月 20 日（月）　　〃
○12 月 2 日（火）　　〃
○ 3 月 10 日（火）　　〃

② 理事会の開催　（6 回）

○ 4 月 1 日（火）市民福祉会館　303 号室
　第 1 号議案　会長、副会長の選任について
　第 2 号議案　職務代理者の指名について
○ 5 月 26 日（月）市民福祉会館　303 号室
　第 1 号報告　監事の選任について
　第 2 号報告　評議員の選任について
　第 3 号議案　平成 25 度事業報告及び一般会計決算について
　第 4 号議案　平成 26 年度一般会計資金収支第 1 次補正予算について
　第 5 号議案　平成 26 年度特別賛助会員の募集について
○ 9 月 3 日（水）　市民福祉会館　303 号室
　第 6 号議案　福祉サービス苦情解決事業第三者委員の選任について
　第 7 号議案　福井市社会福祉協議会児童館職員の就業に関する規程の一部改正について
○11 月 5 日（水）　フェニックスプラザ　301 号室
　第 8 号議案　定款の一部変更について
　第 9 号議案　平成 26 年度一般会計資金収支第 2 次補正予算について
○12 月 11 日（木）市民福祉会館　303 号室
　第 10 号議案　給与規程の一部改正について
　第 11 号議案　職員の職務内容・初任給・昇給・昇格等の基準に関する規程の一部改正について
　第 12 号議案　経理規程の全部改正について
　第 13 号議案　地区社協育成補助金交付要綱の一部改正について
　第 14 号議案　地域福祉活性化事業助成金要綱の一部改正について
　第 15 号議案　辞任に伴う苦情解決第三者委員の選任について
○ 3 月 25 日（水）　市民福祉会館　303 号室
　第 3 号報告　評議員の選任について
　第 16 号議案　平成 26 年度一般会計資金収支第 3 次補正予算について

第 17 号議案　平成 27 年度福井市社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算について
第 18 号議案　社会福祉法人福井市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について

③ 評議員会の開催（3 回）

○ 5 月 27 日（火）市民福祉会館　301 号室
第 1 号報告　監事の選任について
第 2 号報告　評議員の選任について
第 1 号議案　平成 25 年度事業報告及び一般会計決算について
第 2 号議案　平成 26 年度一般会計資金収支第１次補正予算について

○11 月 10 日（月）市民福祉会館　301 号室
第 3 号議案　定款の一部変更について
第 4 号議案　平成 26 年度一般会計資金収支第２次補正予算について

○ 3 月 25 日（水）　市民福祉会館　301 号室
第 3 号報告　評議員の選任について
第 5 号議案　平成 26 年度一般会計資金収支第３次補正予算について
第 6 号議案　平成 27 年度福井市社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算について

④ 担当理事会議の開催

平成 24 年度から「組織」「財政」「事業」の３つの柱で副会長及び理事が担当制をとり、既存の事業の課題、会員会費をはじめとする自主財源確保策、組織の運営上の課題等の課題解決と方策を図る予定をしていたが、平成 26 年度は会議を開催できなかった。

⑤ 理事研修会の開催

地域福祉課題の解決と財源確保、そして組織成長を図るため、当会の理事・監事および職員を対象として、ファンドレイジング（財源確保）の本質や成長する組織にとっての必要なポイント、資金集めの先駆的な取り組みを学ぶ研修会を開催した。

○ 6 月 23 日（月）市民福祉会館　301 号室
「福井市社協が地域福祉課題を解決するための財源確保講座」
（講 師）　山口県共同募金会　主任主事　久津摩　和弘 氏

⑥ 会計監査の実施

○ 5 月 13 日（火）　福井市社協小会議室

⑦　顧問弁護士の配置

労務及び財務相談(のべ 5 件)や新たに策定する規約などについて相談。

（２）事務局体制

美山・越廼支所の正規職員を本所に異動し、支所は非常勤１名体制になった。（清水支所と越廼支所は兼務）基幹相談支援センターの受託に伴い、本所の非常勤職員１名を正職員にした。

職員総数　　201 名
事務局職員　　30 名
本　　所　　27 名（市 2 名（専務理事含む)、常勤 18 名、非常勤 7 名）
美山支所　　1 名（非常勤）

越廼支所　　1名（非常勤兼務）
清水支所　　1名（非常勤兼務）
事業職員　　171名
児童館（館長、児童厚生員、カウンセラー）　85名（非常勤）
自治会型デイホーム事業専任職員　50名（非常勤）
日常生活自立支援事業生活支援員　32名（非常勤）
地域子育て支援拠点事業専任職員　4名（非常勤）

（３）自主財源の確保

① 社協活動の説明状況　【地－52】

地区自治会連合会　　26回（前年度　21回）
地区社協の総会など　　30回（前年度　28回）

② 会員会費の募集　【地－72】【地－73】

地区自治会連合会議や地区社会福祉協議会総会等で社協活動についての説明を行い、会員会費制度への理解促進に努めた。
事務量の軽減・効率化を図るためＯＡ化を行った。

会員会費募集の実績

区　　分	実績額	前年度との比較
一般会費（年額350円／世帯）	23,545,175円	△120,955円
賛助会費（1口1,000円／個人）	10,526,833円	183,553円
特別賛助会費 （1口10,000円／法人・企業）	6,576,676円	318,676円
合　　計	40,648,684円	381,274円

※特別賛助会員加入企業数　555 社（前年度　538社）

③ 寄付金

25件　　3,483,485円（うち自販機寄付金　13,680円）
（前年度　19件　2,083,652円）

㊐④ 募金付き自販機の設置

1台　　売上　81,888円

（４）福井市民福祉大会の開催（市と共催）

永年、社会福祉に尽力いただいた福祉関係者やボランティアへの表彰式典と記念講演を内容として実施。記念講演では、名古屋市瑞穂区でのひとり歩き高齢者（認知症）への取り組みを紹介していただき、地域でのネットワークづくりの大切さを学んだ。

開催日：10月31日（金）　会場：市民福祉会館　6階大ホール
社会福祉関係者及び一般市民約500名の参加を得て開催

○第一部　式　典

・市長表彰　23名
・市社協会長表彰　3団体・ 2校・ 76名
社会福祉施設功労者　26名
社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者　17名
退職役職員等社会福祉功労者　7名
永年勤続功労者　10名

ボランティア功労者　　3団体16名
福祉教育推進校　　2校

○第二部　講演
テーマ：「認知症ひとり歩き高齢者の早期発見ネットワークづくりを進めるために」
講　師：高橋 健輔 氏
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
名古屋市瑞穂区西部いきいき支援センター（地域包括支援センター）
センター長（社会福祉士・ケアマネジャー）

（５）福祉サービスに関する苦情解決事業の推進

福祉サービスの提供に係る苦情受付窓口を設け、受付担当者、解決責任者及び中立・公正な立場から第三者委員を委嘱し、苦情等への適切な対応に努めた。

今年度は、児童館での苦情・要望を詳細に把握することに努めたため、昨年度より大幅の件数が増加となっている。

〈苦情申出人の属性区分〉　　苦情受付件数　41件（前年度　19件）

サービス利用者本人	3件
家族	20件
近隣住民	3件
自治会長	2件
賛助会員寄附者の家族	1件
地区社協関係者	5件
福祉委員	3件
公民館	1件
ボランティア団体	2件
一般市民	1件

〈苦情の事業区分〉

放課後児童会事業	17件
児童館事業	7件
移動児童館	1件
日常生活自立支援事業	2件
障害者相談支援事業	1件
地区社協	1件
福祉委員	3件
会員会費募集	3件
表彰	1件
共同募金	1件
自治会型デイホーム事業	3件
ボランティアセンター事業	1件

〈苦情の内容区分〉　※複数合計

ケアの内容に関わる事項	14 件
職員の接遇に関する事項	19 件
制度、施策、法律に関わる事項	7 件
その他	4 件

（6）広報啓発活動の推進　　【地－65】【地－67】【地－68】【地－69】【地－70】

広報紙、しおり、ホームページ等を通じて市社協活動や福祉情報の提供に努めた。特に、社協だより「まごころ」では、地域での活動の紹介記事を増やすなど、住民や関係者に広く読んでもらえるよう広報強化を行った。

また、読者アンケートを実施し、より多くの住民の意見を反映できるよう工夫を図った。県社協の広報紙コンテストでは優秀賞を受賞した。

① 社協だより「まごころ」の発行　　年 6 回　　各 82,000 部(全戸配布)
② 点訳社協だよりの発行　　年 6 回　　各 53 部
③ 音訳社協だよりの発行　　年 6 回　　各　5 本
④ 社協のしおり発行　　年 1 回　　19,000 部
⑤ 社協のご案内（冊子）発行　　年 1 回　　1,200 部

（7）災害への対応　　【地－42】【地－43】【地－45】

① 災害対応訓練の実施

開催日：6 月 22 日（日）
内　容：ア　職員伝達・参集訓練伝達訓練（電子メール使用）
イ　初動対応訓練（被害状況確認も含む）
・県社協との情報伝達訓練（本所）
・支所・児童館・自治会型デイホームと本所との情報伝達訓練
・各事業に係る安否確認訓練
ウ　市社協常備の防災グッズの紹介、備蓄食糧の試食
エ　被災地での災害ボラセンの設置運営訓練
会　場：福井市社協事務所（上記ア、イ、ウ）
防災センター（上記エ）
参加者：事務局職員全員（一部児童館、デイホーム職員）
周辺市町社協職員（Ａブロック＝坂井・奥越）

② 市災害ボランティアセンター連絡会への参画

第 1 回：6 月 9 日（月）訓練の打ち合せ
訓　練：6 月 22 日（日）災害ボラセン設置運営訓練（福井市防災センター）
第 2 回：10 月 22 日（水）訓練の振り返り
第 3 回：2 月 3 日（火）研修（避難所運営マニュアル、障がい者理解）

③ 福井県内災害時社協相互支援訓練

会　議：5 月 15 日（木）訓練内容の検討（Ａブロックのみ）
訓　練：6 月 22 日（日）訓練本番（会場：福井市防災センター）
他ブロックの訓練は、県内社協間の緊急連絡メールで参加
（Ｂブロック＝8 月 31 日池田町、Ｃブロック＝11 月 9 日敦賀市）

④ 北陸三県災害対応研修会

開催日：12 月 12 日（金）

会　場：福井県立図書館
内　容：県域の枠を超えての連携のあり方を協議
参加者：職員 2 名参加

⑤ 災害復興への職員派遣
災害名：平成 26 年京都府北部・兵庫県北部豪雨
期　日：8 月 25 日（月）
派遣先：丹波市社協（兵庫県）　1 名
内　容：災害現場での泥かき作業等

⑥ 講師派遣
研修名：福井県災害ボランティア研修
期　日：1 月 27 日（火）
内　容：現地災害ボラセンの役割と設置シミュレーション

⑦ 防災備蓄品の購入
災害発生前後の活動を円滑に進めるため、簡易トイレ、飲料水等を購入した。

⑧ 東日本大震災関連の支援
岩手県共同募金会の「いわて赤い羽根あったかいわてプロジェクト～地域見守り応援募金～」で陸前高田市社協が実施する事業のための募金に協力した。
総額　20,937 円

2　ボランティア活動事業　　＜経理区分２＞

住民が気軽にボランティア活動に興味を持ち、かつ参加できるようなボランティア講座を開催し、活動の機会の提供を行った。また、複数回シリーズにすることで、参加者同士の交流を深め、グループ結成や既存グループへの加入を呼びかけ、実際の活動につなげた。

また、地域ぐるみでの福祉教育の推進を図るため、福祉体験講座に地区社協や福祉サポーターの協力を得ながら、福祉体験プログラムの充実に努めた。

福井市総合ボランティアセンターの開設に向けて、運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

（１）ボランティアセンターの職員の配置

2 人のボランティアコーディネーターが、ボランティアの需給調整に関する相談や各種講座の企画・実施、情報発信などを行った。

（２）ボランティア活動推進委員会の開催　【地－30】

ボランティア活動、福祉教育の普及と推進を図るために、各種関係機関で委員構成しているボランティア活動推進委員会を開催した。

① 第 1 回ボランティア活動推進委員会　10 月 21 日(火)
- 平成 26 年度ボランティア活動事業ついて(中間報告)
- ボランティアアンケート（報告）
- 雪かきボランティア活動について

② 第 2 回ボランティア活動推進委員会　3 月 19 日（木）
- 平成 27 年度ボランティア活動事業について
- 平成 27 年度地域福祉活動の推進について

（３）ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数　798 件（前年度　945 件）

② ボランティアの需給調整　　※（　）は前年度の数字

項目	件数	備考
１．ボランティア相談	404 件（535）	
①ボランティア活動希望	44 件（110）	
②ボランティア派遣希望	267 件（282）	
③その他の相談	93 件（143）	企画相談、預託等
２．ボランティア相談マッチング数	392 件（524）	
①活動紹介	207 件（245）	
②情報提供	99 件（149）	
③他機関紹介	15 件　（24）	
④広報	32 件　　（7）	
⑤その他	39 件　（99）	

③ 福井市ボランティアセンター新規登録者数　13 名（男 5 名、女 8 名）

④ ボランティア活動者の把握数　　※（　）は前年度の数字

個　人	―	1,870 人（ 2,081 人）
団　体	225 団体（233 団体）	10,802 人（11,700 人）
合　計	225 団体（233 団体）	12,672 人（13,781 人）

(物品の預託)

個人・団体・企業等から、飲料水・タオル・使用済み切手・使用済みテレカ・チケット他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者他へ払い出しを行った。

⑤ ボランティア登録者現況調査の実施（対象：ボランティアカード記入者 80 名）【地－32】

⑥ ボランティアグループ活動調査の実施（対象：当会が把握しているボランティアグループ 123 グループ）【地－32】

⑦ ボランティア講座の開催

ア．お話し相手ボランティアフォローアップ講座 【地－32】

日　時：11 月 30 日（日）10：00～12：00
会　場：福井市研修センター101 号室
内　容：高齢者、認知症について学び、日頃の活動、関わり方を振り返るとともに、活動内容や活動上の悩みについて、他グループとの情報交換を行った。
講　師：劇団たからぶね
参加者：20 名

㊕イ．折り紙ボランティア養成講座（2 回シリーズ） 【地－31】

日　時： 12 月 8 日（月）、17 日（水）10：00～11：30
会　場：市民福祉会館 301 号室
講　師：中村二郎 氏（日本折り紙協会認定講師）
内　容：折り紙の基本、地域、施設、イベントなどで役立つ作品作りを学んだ。講座終了後、実際に折り紙ボランティア活動をしている方 3 名に、再度作品作りを学び、講座修了生で 2 グループ結成し、福祉施設で活動を行っている。
参加者：延 54 名

㊕ウ．絵手紙ボランティア講座（2 回シリーズ） 【地－31】

日　時：2 月 16 日（月）、25 日（水）10：00～11：30
会　場：市民福祉会館 303 号室
講　師：松田 英子 氏(絵手紙講師)
絵手紙サロン四ツ葉会 （絵手紙ボランティアグループ）
内　容：絵手紙のポイント、楽しさを学んだ。講座修了生のうち、7 名が絵手紙サロン四ツ葉会に入会し、練習を積みながら、福祉施設でのボランティア活動を行っていく予定。
参加者：延 40 名

㊕エ．バルーンボランティア体験講座（3 回シリーズ）【地－31】

日　時：講座　6 月 25 日（水）、7 月 2 日（水）　10：00～11：30
実習　7 月 12 日（土）～13 日（日）10：30～15：00
会　場：アオッサ 7 階 706 号室、アピタ福井大和田店 2 階
講　師：バルーンおじさん　伊藤 進一 氏（株式会社ダイワ広告代表取締役）
内　容：バルーンアートの楽しさと技術を学び、ボランティア活動を体験し、地域やイベントでの活動につなげていった。
参加者：延 43 名

㊐オ．やさしい手話講座（７回シリーズ）　【地－31】

日　時：12 月 8 日（月）、15 日（月）、22 日（月）、1 月 6 日（火）、13 日（火）、19 日（月）、26 日（月）　19：30～21：00

会　場：市民福祉会館 303 号室

講　師：渡辺里美 氏（聴覚障害者）、藤井真津美 氏（手話通訳者）

内　容：聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度について学び、聴覚障害に対する理解を深めるとともに、簡単な日常会話を学び、手話をはじめるきっかけづくりを行った。

参加者：１５名

㊐カ 施設職員とボランティアの合同研修会　【地－32】

日　時：2 月 27 日（金）

会　場：市民福祉会館 301 号室

講　師：関　好博 氏（富山短期大学福祉学科教授）

内　容：施設職員とボランティアが一緒にボランティ活動の意義について共有し、事例を通して、それぞれの立場の相互理解を深めた。

参加者：59 名

⑧「出張！福井市ボランティアセンター」の開催　【地－60】

日　時:7 月 12 日（土）、13 日（日）　10:00～16:00

会　場:アピタ福井大和田店 2 階

協　力:ボランティア連絡協議会、着ぐるみボランティア、バルーンボランティア

内　容:福井市防災フェアと同時に開催し、バルーンコーナーの設置、ボランティアアンケート、ふくみんグッズでのボランティアセンターPR、ボランティア募集情報掲示、脳年齢測定、着ぐるみ「ふくみん」によるボランティアの普及啓発を行った。

⑨ ボランティア情報の発信　【地－58】

紙面 4 ページを 2 ページに縮小、カラー化し、よりビジュアルに関心を引く構成にした。

・ボランティア情報紙の発行　年 12 回(毎月 1 日発行 各 3,000 部)
（配布先　金融機関、公民館、地区社協等 274 箇所）
・ホームページによる情報提供（随時）
・メールマガジンによる情報提供（随時）

⑩ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設およびボランティア募集について

市内在住の障害者や高齢者の非課税世帯で、同居または近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に 12 月 2 日から翌年 3 月 15 日まで開設し、3 日延べ 12 軒、延べ 53 人が活動した。　※（　）は前年度の数字

雪かきボランティア相談数	47 件（33 件）
ボランティア活動希望者数	53 名（34 名）
ボランティア依頼世帯数	10 世帯＜障害者世帯 10 世帯＞ （7 世帯(障害者世帯 6 世帯、高齢者世帯 1 世帯)）
ボランティア活動日数	3 日（1 日）
ボランティア活動者数（延べ）	43 人（1 名）

⑪ ボランティア連絡協議会への支援　【地－60】

ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。

⑫ ボランティア活動拠点づくりの支援

ボランティア活動者の拠点としてボランティアが活動しやすくするために、ボランティアセンターの開設時間外（夜間・休日）も印刷機等機材が使用できるように環境整備を図った。（当事者団体・ボランティアグループ 29 団体が利用）

・コピー機・印刷機・紙折り機・プロジェクター・スクリーン等

⑬ ボランティア保険の加入促進

・ボランティア活動保険　加入受付数　6,764 人（前年度 7,414 人）

・ボランティア保険等の加入のための普及啓発

⑭ 車椅子の貸出し　180 件　（前年度 147 件）

⑮ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し【地－65】【地－66】
8 件

㊎⑯「福井市ボランティアネット」の運営協力

（４）福祉教育の推進　【地－57】

① 学校での福祉体験講座などへの支援協力（相談・コーディネート等　119 件）

② 学校での福祉体験講座（講師紹介）　延べ 62 校

③ 教職員課題別研修「福祉教育を考える講座」の開催（市教育委員会との共催）
【地－24】

7 月 31 日(木)　参加者　福井市小中学校教職員 18 人

テーマ：「こころのバリアフリー～車椅子・ガイドヘルプ編～」

講　師：福井市ボランティアセンターゲスト講師
橋本 泰治 氏、浦松 豊之 氏、竹下 輝政 氏

④ 他団体からの依頼によるボランティア講座等に講師等で協力

・子育て支援ボランティア講座（市男女共同参画・子ども家庭センター）　2 回

・福井銀行森田支店職員勉強会 1 回

3　障害者生活支援センター事業　　＜経理区分３＞

福井市障害者生活支援センターとして、障害者相談支援事業（委託相談支援事業）、基幹相談支援センター事業、指定計画相談支援事業、指定障害児相談支援事業等を実施し、障害者や家族等からの日常生活に関する相談やサービス利用およびサービス等利用計画作成に関する相談に対応した。

また、各委託相談支援事業所並びに特定相談支援事業所および保健、福祉、医療等の関係機関と連携し相談支援を実施した。

（１）福井市障害者相談支援事業　＜委託相談支援事業＞　　資料１

【地―9】【地－10】

①開設状況

月～金曜日の 8:30～17:15（祝日・年末年始は休業）

②職員配置

常勤職員　専従　1名　（保健師・相談支援専門員）

常勤職員　兼務　1名　（社会福祉士・相談支援専門員）

③相談件数

相談件数　1,047 件（前年度 2,653 件）

相談内容	件数（延べ）	相談内容	件数（延べ）
福祉サービスの利用	392	家計・経済	45
障害や病状の理解	18	生活技能	59
健康・医療	120	就労	58
不安解消・情緒安定	109	社会参加・余暇活動	35
保育・教育	45	権利擁護	28
家族関係・人間関係	103	その他	35
		合　　計	1,047

ピアカウンセリング　0 件

個別支援会議　　11 件

④事業内容

障害者ケアマネジメントの手法を用いながら相談支援を行った。

ア　福祉サービスの利用援助

福祉サービス利用調整や相談、手続きの同行や代行

イ　社会資源を活用するための支援

福祉サービス事業所の情報提供、相談、調整、見学の同行

ウ　社会生活力を高めるための支援

金銭管理や生活保護の受給申請等の生活支援を必要とする場合の相談や同行、余暇活動の紹介

エ　ピアカウンセリング（当事者相談）

同じ障害を持つ人による悩みや問題解決の支援

オ　権利擁護のために必要な援助

成年後見等の権利擁護のための支援が必要な場合の相談

カ　専門機関の紹介

行政機関、医療機関等の専門機関の紹介および同行支援

キ　市障害者自立支援協議会への参画

運営会議　10 回　　こども部会　3 回　　居宅生活支援部会　4 回

ク　中央いきいきサロン【地－37】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障害者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、小物作り、お茶会、学習会（振り込め詐欺出前講座）など	毎週金曜日 13:00～16:00 実施回数： 49 回 会場：市民福祉会館地下１階	延べ 1,337 名 （前年度延べ 1,169 名）

㊐ケ　パソコンサロン

パソコンによる情報収集や情報交換をより高めるため、専門家による相談窓口を開設し、質問やトラブル等への助言や解決を図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
パソコンの操作体験、便利なグッズ・補助具の紹介など	第 3 木曜日 13:00～16:00 実施回数：7 回 会場：市社協小会議室	延べ　14 名 （前年度延べ 25 名）

コ　研修会・懇談会等への協力等

・地域精神保健福祉業務連絡会への参画（全体会、普及啓発部会、居宅生活・医療観察部会、思春期部会）（5 月 8 日ほか）
・県立福井東特別支援学校地域別進路相談会（8 月 19 日）
・県立福井東特別支援学校地域生活支援相談会（8 月 24 日）
・福井中央北包括支援センター地域ケア会議（9 月 1 日）
・県立福井東特別支援学校教職員研修会（9 月 30 日）
・県立福井東特別支援学校「Ａコース進路学習会」（11 月 26 日）
・県立福井東特別支援学校「福井地区学習会」への協力（11 月 29 日）
・障害者ハートフル文化祭への協力
（12 月 6 日～7 日　ショッピングシティベル）
・福井橋南包括支援センター地域ケア会議（1 月 14 日）
・福井北包括支援センターエリア内介護支援専門員研修会（3 月 13 日）

サ　障害支援区分認定調査

10 名（在宅生活者 10 名、入所者 0 名）　（前年度　22 名）

㊐（２）福井市基幹相談支援センター事業　　**資料２**

①開設状況

月～金曜日の 8:30～17:15（祝日・年末年始は休業）
緊急時は携帯電話で対応する。

②職員配置

常勤職員　　専従　1名　（社会福祉士・相談支援専門員）
常勤職員（管理者）　兼務　1名　（社会福祉士・相談支援専門員）

③事業内容

ア　総合的・専門的な相談支援の実施

身体・知的・精神の障害区分の別を問わず、委託相談支援事業所等が受けた困難ケースに対して、問題解決のためのサポートを行った。

・対応が難しい他事業所からのケース　21 名（実人数)、対応 97 件
・事業所や関係機関との同行訪問　　1 件
・困難ケースの個別調整会議　　実施 8 回、参加 21 回

イ　地域の相談支援体制の強化

サービス等利用計画や障害児支援利用計画の作成に関する助言や研修会を実施しながら相談支援専門員の資質向上を図った。

・相談支援事業所への訪問等指導　　延べ 63 件
・相談支援専門員研修

実施日	テーマ	参加者
第 1 回 4 月 14 日(月)	【テーマ】計画相談の円滑実施のための加速策 【講師】福井県総合福祉相談所　障害者相談課 課長　　芝　康弘　氏	35 名
第 2 回 7 月 11 日(金)	【テーマ】ケース会議の進め方とチーム支援における相談支援の専門員の役割 【講師】福井県立大学看護福祉学部 社会福祉学科准教授 吉川　公章　氏	32 名
第 3 回 8 月 22 日(金)	【テーマ】サービス等利用計画と個別支援計画との違い 【講師】社会福祉法人 高水福祉会 ふっくら工房 ふるさと就労移行支援事業所 所長　　丸山　哲　氏	30 名
第 4 回 2 月 3 日（火）	【テーマ】成年後見制度と成年後見制度利用支援事業 【講師】一般社団法人　福井県社会福祉士会 事務局長　　近藤　俊英　氏 福井市福祉保健部障害福祉課 社会福祉士　野尻　郁恵　氏	25 名

ウ　地域移行・地域定着の促進の取り組み

ひとり暮らしの障害者等地域で生活する上で、地域住民の理解や地域の福祉力の向上が必要となるため、地域の支援者等との情報交換会を実施した。

・障害者支援に関する意見交換会　　市内 1 地区　　1 回（3 月 12 日）

エ　権利擁護・虐待の防止

・福井市障害者虐待防止ネットワーク担当者会議への参加　1 回 (8 月 27 日)
・福井市障害者虐待防止ネットワーク運営委員会への参加　1 回 (2 月 18 日)
・成年後見制度と成年後見制度利用支援事業に関する学習会の実施　1 回
（相談支援専門員研修会・第 4 回で実施）

オ　市障害者自立支援協議会の事務局　【地－11】

市障害者自立支援協議会の運営会議、相談支援事業者連絡会、全体会議における資料作成や会議録、関係機関との連絡調整を行った。

・全体会　3 回（6 月 4 日、9 月 11 日、3 月 20 日）
・運営会議 10 回（4 月 9 日、5 月 21 日、6 月 25 日、7 月 30 日、8 月 6 日、9 月 10 日、10 月 8 日、12 月 10 日、1 月 14 日、3 月 4 日）
・就労部会　5 回（5 月 16 日、8 月 22 日、11 月 5 日、12 月 2 日、1 月 29 日）
（ふくい障害者ワークフェアへの参加　9 月 14 日～15 日）

・居宅生活支援部会　4回（6月5日、7月8日、12月9日、2月6日）
・こども部会　3回（6月10日、7月4日、3月12日）
・相談支援事業者連絡会 5回（4月14日、7月11日、11月21日、2月3日、3月16日）
・障がい福祉に関する学習会　1回（1月22日）参加者110名
・県自立支援協議会人材育成部会への出席（6月17日、3月18日）

カ　研修会・連絡会等への協力
・福井県精神保健福祉士会･春期研修会へのＰＲ活動（5月17日）
・障害者相談支援従事者初任者研修会への協力
講義：5月14～15日 越前市福祉健康センター
演習：6月11～13日 サンドーム福井
・障害者相談支援従事者現任研修への協力
（12月16日～18日、福井県社会福祉センター）

キ　研修会等への参加
・障害者相談支援従事者専門コース別研修会（地域移行･定着･触法）
（10月6日 福井県春山合同庁舎、16日 福井県社会福祉センター）

（３）指定計画相談支援事業及び指定障害児相談支援事業

①開設状況
月～金曜日の8:30～17:15（祝日・年末年始は休業）

②職員配置
常勤職員　兼務　7名　（相談支援専門員）

③相談件数
延べ1,994件

④サービス等利用計画作成状況
新規　30件（計画相談支援28件　障害児相談支援2件）
累計　68件（計画相談支援64件　障害児相談支援4件）

⑤現利用者件数（平成27年3月31日現在）
60件（計画相談支援56件、障害児相談支援4件）　（前年度末　38件）

（４）福井市障害者生活訓練事業　【地－36】

①社会体験活動
日　時　8月24日（日）
会　場　ふくい健康の森　バーベキュー場
内　容　各自がバス等を利用して、現地に集合し、バーベキューの準備、食事、片付けをみんなで協力しながら行った。
参加者　障害者　18名、ボランティア　6名

②料理教室
日　時　1月25日(日)10：00～13：20
会　場　福井県生活学習館ユー・アイふくい　調理実習室
内　容　ピザ、スープ、デザートを準備し、包丁の使い方、調理の方法などを学びながら調理した。
参加者　障害者　16名、ボランティア　7名

（５）福井市精神障害者ボランティア団体支援事業　【地－36】

①精神障害者およびボランティアによる「つどい」の開催

精神障害者の心身機能の回復を図るため、精神保健ボランティアグループの協力を得て「さわやかサロン」を開催し、ふれあいや交流を通じて仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、ゲームなど	毎月第２木曜日 13:00～16:00 毎月第４火曜日 13:00～16:00 実施回数：24 回 会場：市民福祉会館地下１階	延べ　114 名
リラクゼーション体操教室	1 月 27 日(火)14:00～15:00 講師：(特非) 生涯体育学習振興機構 理事長 漆崎 由美 氏 会場：市民福祉会館地下１階 内容：体の無駄な力を抜き、心をほぐす体験	
料理教室	2 月 12 日(木)10:00～14:00 講師：荒川 勝 氏 会場：アオッサ・調理室 内容：ご飯、魚のホイル焼き、豚汁	

②学習会の開催

日　時	内　容	講　師	参加者
12 月 15 日（月）	「精神保健福祉ボランティアグループに期待すること-精神保健福祉士として活動する中で-」	精神保健福祉士 吉田　弘美氏	40 名
2 月 23 日（月）	「成年後見制度について」	地域福祉課長 竹内　倫自	20 名

4　自治会型デイホーム事業　＜経理区分４＞

各地区で新規利用者が参加しやすい講座や教室を開催したり、利用促進事業としてカメラやカラオケセットの貸し出し等を継続して行い、実利用者を増やすことができた。市中心部での参加率アップ、男性参加者増の工夫、メニューの見直しなどが課題である。【地－19】【地－35】【地－39】

（１）職員配置

① 企画職員

ア 常勤職員２人を配置

自治会型デイホーム事業の総括及び専任職員の指導・育成、市及び地域包括支援センターや関係機関との連携・調整等

イ 常勤職員（保健師）１人を配置（兼務）

健康情報の発信

ウ 非常勤職員（指導員）１人を配置

専任職員の指導、事業の集計・事務指導等

② 専任職員

担当地区の自治会型デイホーム事業の企画・運営。区域ごとに１人配置
51 人（2 地区兼務者 1 人含む）

（２）実施地区と実施回数・実施箇所数　資料３

① 実施地区　　49 地区（51 区域）で実施

② 実施回数・実施箇所数

ア 実施回数　延べ　3,621 回　（前年度　延べ　3,625 回）

イ 実施箇所数　　486 箇所（前年度　486 箇所）

③ 参加人数　　延べ 72,437 人　（前年度　延べ　73,613 人）

ア 利用者数　延べ 52,052 人／実人数　9,720 人
（前年度　延べ 52,261 人／実人数　9,688 人）

イ 協力者数　延べ 18,006 人　（前年度　延べ 18,599 人）

ウ その他　　延べ　2,379 人　（前年度　延べ　2,753 人）

④ 参加率

ア　65 歳以上参加率　13.13%　（前年度 13.51%）

イ　75 歳以上参加率　16.85%　（前年度 19.53%）

（３）実施内容

① 必須メニュー

転倒骨折予防体操としての「ふくいのズンドコ体操」の普及推進と認知症予防基本メニューを必須メニューとして毎回実施した。また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、デイホーム開催時に参加者に配布して、介護予防・健康づくりへの意識を高めた。

② 通常メニュー

話し合い(ティータイム)や健康体操・レクリエーション・ゲーム・小物作りなどをベースに、季節感や参加される方の希望を聞きながら趣味や特技を生かしたプログラムを盛り込んだ。

③　防火教室、交通安全教室、防犯教室等の実施

市消防局による防火教室や救急法教室、各警察署、福井市まちづくり

国際課による交通安全教室を開催した。また、高齢者を狙った犯罪が多発しているため、警察署員による防犯教室を新たに開催した。

消防局　防火・救急法教室　　23地区　延べ63回
警察署　交通安全　　26地区　延べ38回
　　防犯教室　　23地区　延べ48回
福井市まちづくり国際課　　20地区　延べ73回

⑤ 消費者出前講座の開催

消費者センターとのタイアップで高齢者の悪徳商法予防のための講座を実施した。

13地区　37回

⑥ すかっとランド九頭竜での外出デイホーム(利用料及び会場の減免対応)

32 地区　42 回　　利用者数　3,076 人

⑦ 国際交流事業の開催

ふくい市民国際交流協会の協力により、福井市内に在住の外国人（タイ、中国、ベトナム、ブラジル等）との交流事業を実施した。

9地区　12回

⑧ 福井市環境出前講座

2地区　　3回

⑨ 福井市高齢者人材活用派遣事業

1地区　　3回

（４）自治会型デイホーム事業運営委員会の開催

各地区社協単位で開催　全49地区社協　　計 120回 開催

（５）会議・研修会の実施

① 専任職員定例会の開催　毎月１回　（計12回）

② 専任職員採用予定者研修　2月17日(火)～20日(金)　計4日間

平成26年度新規採用3名

③ 専任職員現任研修

開催日：11月10日（月）、21日（金）
内　容：講義および実技
対　象：在職3年以上の専任職員6名

④ 専任職員研修会

ア　5月26日（月）　専任職員49名
講義：「楽しく体を動かしながら貯筋する方法」
講師：(特非) 生涯体育学習振興機構　理事長　漆崎　由美氏

イ　7月28日（月）　専任職員48名
実技：「文字の大切さ、文字の与える印象」
講師：福井県書作家協会　評議員　久我 八千代 氏

ウ　9月29日（月）　専任職員49名
実技：「絵手紙を上手に伝えるコツ」
講師：絵手紙講師　松田 英子 氏

⑤ 地域福祉リーダー研修会

6 月 9 日(月)、16 日（月）　協力ボランティア・専任職員等　153 人

講義および実技：「ＡＥＤと救急法」
講師：福井市消防局　救急隊員各回５名

（６）利用促進事業

デジタルカメラ、カラオケセット、プロジェクター等を貸し出し、講座等の開催を行った他、教養講座として、コーヒー講座や和菓子講座等と開催し、利用促進した。

貸出実績　　22 回（前年度 67 回）
教養講座回数　38 回（前年度 22 回）